
第24回 犬山シンポジウム

プログラム

日 時: 2003年8月7日(木)13:00 ~ 8日(金)11:40

場 所: 名鉄犬山ホテル 6階 「シャトー」

愛知県犬山市犬山北古券 107-1

TEL:0568-61-2211 FAX:0568-62-5750

共 催:財団法人ウイルス肝炎研究財団

エーザイ株式会社

<第1日目 8月7日(木)>

開会の挨拶 ー市田文弘先生追悼の辞、今回の主題についてー
谷川 久一

セッション1 B型肝炎の病態・治療

司会 清澤研道、小俣政男

【主題演題】

Lamivudine は B型肝炎の自然経過を修飾するか
信州大学 第2内科 清澤研道

Lamivudine 変異株に対する Adefovir、Entecavir の使用経験
虎の門病院 消化器科 熊田博光

【一般演題】

1. B型肝炎ウイルス(HBV) genotype D と genotype C の比較検討
愛媛大学 第3内科 恩地森一
2. B型慢性肝炎に対する IFN、lamivudine 併用療法の試み
京都府立医科大学 消化器内科 岡上 武
3. B型肝細胞癌に対するラミブジン投与のケースコントロールスタディ
岡山大学 消化器・肝臓・感染症内科 白鳥康史
4. B型慢性肝疾患に対するラミブジン治療
新潟大学 生命科学医療センター 市田隆文
5. 非代償性 B型肝硬変症に対するラミブジン治療の有用性の検討
熊本大学 消化器内科 佐々木 裕、藤山重俊
6. Lamivudine 再投与例における耐性株・臨床経過
デルタクリニック 日野邦彦
7. Reverse immunogenetics 法を用いた B型肝炎の病態解析ーラミブジン治療と関連してー
富山医科薬科大学 第三内科 渡辺明治
8. HBs抗原陽性肝細胞癌症例への肝動注化学療法における肝障害の検討

久留米大学 第2内科 佐田通夫

9. B型肝炎の治療とラミブジン治療

広島大学 分子病態制御内科学 茶山一彰

【特別発言】

現在のB型肝炎治療の問題点

東京大学 消化器内科 小俣政男

セッション2 C型肝炎の病態

司会 沖田 極、林 紀夫

【主題演題】

C型肝炎の病態における樹状細胞サブセットの意義

大阪大学 分子制御治療学 林 紀夫

HCV コアタンパクの酸化ストレス誘導とアポトーシス抑制効果

山口大学 消化器病態内科学 沖田 極

【一般演題】

1. C型慢性肝炎における肝臓内リンパ球の変動

新潟大学 生命科学医療センター 市田隆文

2. C型慢性肝炎における肝細胞障害機序:CD28陰性CD8陽性T細胞の関与について

香川医科大学 第3内科 栗林茂樹

3. HCV replicon systemを用いたC型肝炎の病態・治療の検討

東京医科歯科大学 消化器内科 榎本信幸

<2日目 8月8日(金)>

セッション3 C型肝炎の治療

司会 熊田 博光、岡上 武

【主題演題】C型肝炎への抗ウイルス療法の進歩と HCV dynamics

京都府立医科大学 消化器病態制御学 岡上 武

【一般演題】

1. インターフェロン・リバビリン併用療法時の C型肝炎ウイルス変異の検討

千葉大学 腫瘍内科学 横須賀 収

2. C型肝炎に対する IFN/リバビリン治療中の血中アミノ酸と Th1/Th2 比の変動

愛知医科大学 消化器内科 各務伸一

3. C型肝炎の治療 — 当科における Randomized Control Study による検討 —

広島大学 分子病態制御内科学 茶山一彰

4. C型肝炎に対する IFN/Ribavirin 併用療法後 IFN 単独治療の意義

大阪大学 分子制御治療学 林 紀夫

5. C型肝炎 IFN 単独治療およびリバビリン併用療法の治療成績

国立病院長崎医療センター 臨床研究センター 八橋 弘、石橋大海

6. Genotype 1b C型肝炎に対する IFN α -2b+Ribavirin 併用療法の効果

札幌厚生病院 消化器科 豊田成司

7. Genotype 1b かつ高ウイルス量例に対する瀉血+SNMC 療法と IFN+Ribavirin 療法との比較

デルタクリニック 日野邦彦

8. C型肝炎への IFN・リバビリン療法時の貧血に対するエイコサペンタクエン酸の効果

久留米大学 第二内科 佐田通夫

【特別発言】

IFN・PegIFN、ribavirin 併用療法の現状と問題点

清川病院 飯野 四郎

閉会の挨拶

飯野 四郎